

第5回考える会で提出された質問と回答

提出いただいたシートのうち、「質問」については内容を損なわない範囲で要約をさせていただいております。

No.	質問（要約）	市の考え方
1	「小中一貫」のメリットは？	<p>小中一貫教育のメリットとしては、まず挙げられるのが、小学校から中学校への進学に際し、子どもたちが新しい環境での学習や生活に不適應を起こす、いわゆる「中1ギャップ」の緩和が期待できることです。小学校高学年の段階から教科担任制を一部取り入れることや、中学校教員による授業の実施、さらには小学生と中学生の交流活動などを行うことにより、中学校の学習や生活環境に段階的に慣れる機会を設けることができるようになります。</p> <p>また、もう一つの大きなメリットとして、児童生徒の個性に応じた細かな支援が継続的に可能になることです。9年間を通じた教育課程の中で、児童生徒の学習状況や生活面の様子、家庭環境などについて小学校と中学校の教員が継続的に情報共有することが可能となるため、学習面でつまずきが見られる児童に対しては早い段階から支援を行い、中学校進学後も同様の支援を継続することができず。また、発達特性のある児童生徒への配慮や、不登校傾向が見られる児童生徒への対応についても、小学校段階からの支援内容を中学校へ確実に引き継ぐことができることから、環境の変化による不適應の防止にもつながるものと考えています。</p>
2	将来、しのおか学園（仮称）に再編する中で、市外含めて、小中一貫教育をアピールする動画作成など展開の予定はありますか？	<p>学校再編に伴い、導入の検討を進める小中一貫教育につきましては、市外からの転入者の増加につながるような他自治体にも誇れるものとして考えております。その上で、多くの皆様方にそのメリットなどを知っていただくため、小中一貫教育の検討と共に、動画作成なども含め、周知手法を検討してまいります。</p>
3	使用されなくなった学校施設はどうするのか？	<p>学校再編後の廃校の利活用につきましては、体育館、グラウンドについては、地域スポーツや防災など地域の重要な拠点となっていることから、その機能を維持していくために、基本的に残していく方向で検討していきます。</p>
4	再編後も地域の施設として学校を活用できる案などは考えられていないのか？	<p>他方で、校舎等については、現在、市全体でその利活用を検討しておりますが、多額の維持管理費をかけてまで転用する必要性の高い公共施設の計画が無いのであれば、公共施設に係る経費の縮減に努めるために市内の公共施設の配置や総量の適正化へ配慮しつつ、取壊しの検討や民間事業者の需要も視野に入れながら、今後検討を進めていく予定としています。</p>
5	校歌も公募で決まるのか？卒業生も応募できるのか？	<p>校歌については、その作成方法も含め、学校再編後の児童生徒と共に考えてまいります。再編後の児童生徒が自分たちの力で校歌を作り上げていく、その過程を通して、連帯感や学校への愛着を育めるような機会を提供していきたいと考えています。</p>
6	城山三丁目、四丁目の指定変更について通学する学校を変更した子供が少数の場合、登下校はどうするのか？通学団の編成は？	<p>城山三丁目、四丁目における就学校の指定変更により、変更後の学校へ通学する場合においても、通学団を編成して通学することとなります。</p> <p>そのため、指定変更をご検討される際には、変更後の学校へ通学する人数や地域の集合場所などを考慮した上で、指定変更するかどうかご判断いただきますようお願いいたします。</p>
7	添乗員はどのような人物を想定していますか？	<p>スクールバスへの添乗業務については、事業者業務委託することを考えており、児童や保護者、先生方、運行事業者と連携し通学支援を実施できるような添乗員として適切な人材を委託事業者において募集します。また、実際の添乗前にはマニュアル等に基づく事前研修を行うことで、より安全な通学につなげたいと考えています。</p>
8	桃花台が衰退しないような取組みは？	<p>人口減少や高齢化が進む東部地域を持続的に発展し続けるまちとしていくために「東部振興構想」を策定し、居住者、就業者、来訪者や転入者などまちづくりの中心となる「人」に焦点をあてたヴィジョンを定め、地域一体となった多角的な取り組みを推進しています。</p> <p>生産年齢人口のうち、子育て世代にあたる20歳代、30歳代の人口が少ないことから、バランスのとれた人口構成を図るには、その世代の人口を増やす必要があります。地域一帯での子育ての仕組みの構築、多様な働き方ができる環境の整備等、子育て世代にとって魅力ある環境の整備を取組方針として掲げています。</p> <p>また高齢者が安心して暮らせる環境、若者が東部地域に愛着を持てる環境についても取組方針として掲げ、環境の整備に取り組んでいます。</p>
9	特別な学校づくりのために授業のカリキュラム等、全国のすばらしい学校をリサーチ等しているのか？	<p>これまでも学校再編に取り組んでいる自治体の行政視察を複数行ってきました。自治体ごとに地域特性や抱える課題が異なりますが様々な点で参考にさせていただいております。今後も引き続き、他市町村の状況等を参考としながら、本市の子どもたちにとって望ましい授業のカリキュラム作りなどに取組んでいきます。</p>
10	大城小学校選べる地域は兄弟で意見が違う場合は別々でOKなのか？	<p>兄弟で別々の学校に通学することは可能です。行事については、可能な限り同じ日とならないように配慮いたしますが、必ず全ての行事を別の日とすることはできないことが想定されます。そのため、学校の指定変更をご検討される際には、そうしたことも含めてご判断いただきますようお願いいたします。</p>
11	スクールバスエリア外でもバス通学の対象となるケースがあるのか？	<p>スクールバスによる通学は、原則として、バスエリア内に居住する児童を対象としています。</p> <p>ただし、バスエリア外の児童のうち、最寄の通学団が著しく遠いなど、集団での登下校が困難な場合には、教育委員会よりスクールバス利用のご提案をさせていただく場合があります。</p>